



2020年12月1日(火)

宇部市立図書館リニューアル市民委員会

開催報告書

宇部市立図書館リニューアル第1回市民委員会

1. 日時
2020年10月31日(土) 10:00~12:00
2. 場所
宇部市立図書館講座室、Zoom
3. 参加人数
合計35人(会場参加:27人、オンライン参加:8人)
4. テーマ
「これからの宇部市立図書館を想像/創造しよう」
5. プログラム概要
 - ① 開会の挨拶
 - ② 話題提供「他自治体の事例紹介-読書支援を」
 - ③ ワークショップ「宇部市立図書館の利用体験ストーリーを考えよう」

タイムテーブル

1部	10:00-10:05	開会の挨拶(5分)	図書館
	10:05-10:10	市民委員会の目標(5分)	arg
	10:10-10:15	第0回市民委員会の振り返り(5分)	arg
	10:15-10:25	話題提供(10分) 「他自治体の図書館事例-読書活動の支援を中心に」	arg
2部	10:25-10:55	ワークショップ(30分) 「宇部市立図書館の利用体験ストーリーを考えよう」 (前半)	全体
	10:55-11:10	休憩(15分)	
	11:10-11:40	ワークショップ(30分) 「宇部市立図書館の利用体験ストーリーを考えよう」 (後半)	全体
	11:40-11:55	ストーリーの発表(15分)	全体
	11:55-12:00	講評・閉会の挨拶・連絡事項(5分)	図書館

開会の挨拶

はじめに、宇部市教育委員会教育部長上村浩司様より開会の挨拶をいただいた。以下、上村様の発言より抜粋。「宇部市では、2020年3月に策定した『UBE 読書のまちづくりビジョン』に基づき、本を通じて人とまちがつながり、ともに成長していくまちづくりに取り組んでいます。今回の第1回市民委員のなかでも、わくわくするような意見を出していただき、この市民委員会が未来につながる場になっていくことを期待しています」。



撮影：arg

話題提供

市民委員会での議論を深めるための話題提供として、他自治体の図書館事例を紹介した。読書活動の支援や、市民が中心となって行っている図書館での活動を中心に、あかし市民図書館（兵庫県明石市）、伊丹市立図書館本館ことば蔵（兵庫県伊丹市）、生駒市図書館（奈良県生駒市）の事例を紹介し、図書館での活動の多様さを共有した。

話題提供
「他自治体の図書館事例 - 読書活動の支援を中心に」

伊丹市立図書館本館「ことば蔵」
"Library of the Year 2016"大賞受賞

交流フロア運営会議 ことば蔵部活動

出典：http://www.city.itami.lg.jp/5050K/IEDSHOGA/IEDLIB/kouryu_30or

話題提供
「他自治体の図書館事例 - 読書活動の支援を中心に」

生駒市図書館
(奈良県生駒市)
"Library of the Year 2020"優秀賞受賞

生駒ビブリオ倶楽部

出典：<https://ikomabile.jp/mo/>

出典：arg

ワークショップ 「宇部市立図書館の利用体験ストーリーを考えよう」

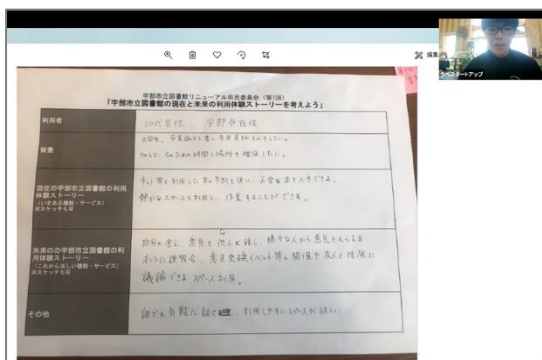
宇部市立図書館の現在と未来の利用体験ストーリーを考えるワークショップを実施。自分自身だけでなく、さまざまな利用者の立場になって、図書館でどのような利用体験ができるか、自由に想像した。現地4グループと、オンライン1グループの計5グループに分かれて、各々が作成した利用体験ストーリーを共有し、グループディスカッションを行った。最終的にはオンライングループも含めた5グループがそれぞれのグループで話したことを発表し、全体に共有した。

今までは図書館を利用していなかった人が、新しくなった図書館に訪れるようになるストーリーや、逆に読書好きで、よく図書館を利用していた人が、未来の図書館では読書活動を通して他の人との交流を楽しむようになるストーリー等、多様な利用体験ストーリーが生まれた。

<現地参加者>



<オンライン参加者>



撮影：arg

利用体験ストーリーから見えた、新しい図書館に求められる役割

図書館空間の多様な使い方

静かな空間での資料閲覧だけではなく、ある程度のにぎわいや交流、自習等の個人作業を許容する多様な図書館空間の使い方への期待がある。

- 自分の考え、意見を他人に話、さまざまな人から意見をもらえる、オンライン説明会、意見交換イベント等の開催や友人と活発に議論できるスペースの利用（設定：20代男性、宇部市在住）
- 自由なスタイルで利用できる空間（机といすを例えばハンモック、ごろ寝、屋外空間）（設定：50代男性、市内在住）
- 小学生になった子どもと図書館でパン作りを体験。地元のパン屋さんと提携したイベントらしい。パン作りの本を借りて帰り、今度の休みに一緒に作る予定（設定：20代女性、乳幼児の子育て中）
- 音楽 CD コーナーの照明は明るくスペースは開放的で、下の段も膝をつかなくても楽な姿勢でゆっくり選べ、聴きたい CD をコーヒー（設定：ドリップ式で 100 円程度）を館内で飲みながら、リラックスして CD を聴いている自分がある（設定：70代男性）

IT を活用した、情報環境の整備

AI による本のおすすめサービスや、自宅からの情報収集など、IT を活用した新しい情報アクセスの体験が求められている。書誌情報の検索だけでなく、本文内のキーワード検索等、より高度な検索機能による新たな発見や出会いを期待している。

- 入口で渡された検索モバイルに、「女の子が好きそうな本」、「短い」と入力すると、候補とこれまで読んだ人が書いた簡単な感想、おすすめ度、本のある場所がすぐに表示された。おすすめ度の高い本をとりあえず読んでみる。いつもならすぐに飽きるのに、この本面白い。みんなが勧めるだけあるな。青の子と感想を言い合えたらいいなと思ったら、意外と読み続けることができた（設定：小学校 6 年生男子）
- 無人配達ロボットが本の配達や自宅から図書館まで送迎（50代女性、宇部市勤務）
- 家の近所に本の受け取り BOX があったり、電子書籍でいつでも読みたい本を読むことができるようになった（設定：40代女性）
- 歴史の根拠（諸元）となっている一次資料（古文書、古地図、写真、映像等）へのオンラインでのアクセスができる。地域出版、自費出版などの地域にしかない関連文献が外部から閲覧できる（設定：地域の歴史を学ぶ、調べる郷土史家）
- 市立図書館と学校図書室と校区の市民センターがオンラインでつながり、どこでも図書館サービスが使えるようになる。どの窓口でもサポートが受けられ、IT が苦手なおばあちゃんでも検索システムが使える、自分で予約や受け取りができるようになりとても喜んでいる。免許を返納しても本が借り続けられる。おはなし会もオンラインのリアルタイムで参加することができるので、女の子と弟と一緒に校区のセンターで参加できるようになっている。子どもたちの徒歩圏内に図書館につなが

る入り口があることで、とても便利になった（設定：小学生低学年の女の子）

世代間交流の場づくり

現在も図書館で活動する団体はあるが、世代間での交流は少ないのではないかと推察される。新しい図書館ではよりオープンな空間で、世代を問わずコミュニケーションをできるような場になることを期待している。また、図書館に行くことが、まちや地域住民とのつながりを持つきっかけになることが求められている。

- 年とともに人と会うことが少なくなり、図書館で異なる年齢層と本を通じて話せるといいなと思う（設定：宇部市在住、独居老人）
- いろいろな視点で選択された本が読める。読書好きの高校生や大学生のグループが選んだ本のコーナーが図書館及びインターネット（電子書籍）で読める。若者とシニアがお互いにどんなことに興味を持っているかを知り、相互理解の場になる（設定：50代）
- 多言語の情報提供、交流の場、機会が多い。図書館で仲間を見つけ、同世代、世代間で楽しめ、困ったことの解決サポートも（設定：宇部で働き学ぶ外国人の家庭）
- 図書スペースとは別に自習できるスペースが確保されていて講義終わりや休日に作業しに行き情報が必要な時には情報スペースを利用することができる。ネット環境も完備されている。昼食として近くのお店を利用する。住民の方（高齢者や子育て世代等）とふれあうイベント等に休憩がてらに参加して、また会いたいと思える人ができ、まちとの接点をもつことができる（設定：大学生、県外出身、宇部市在住）

非日常を感じられる空間

新しい図書館に中心市街地のにぎわいの拠点としての役割を期待し、そのためにおしゃれなカフェ等、非日常を感じられる空間になることを求めている。

- 図書館でガーデンカフェをやっていると SNS で見つける。とてもインスタ映え、次の週末、特に何の本を読むと決めていないが、面白い本のコーナーを見つけ、何年かぶりに小説を手に取り、本の世界にどっぷりとつかる（設定：20～30代独身男性）
- 最近、図書館がおしゃれになったんだって。近場でゆっくりおでかけ気分が味わえるみたい。ランチもできるし、ワークショップもあるんだってよ、1日過ごせるね！（設定：40代女性）

図書館利用を通じた自己成長や、生活の質の向上

自分の勉強や仕事のスキルアップなど、図書館の利用による自身の成長や生活の質を向上したいという意識がうかがえる。そのために司書・職員とのコミュニケーションを深め、より高度な支援が求められている。

- 業務に集中したいとき、図書館の個室を利用している。セキュリティの高いインターネット環境も

あり、資料や書籍の揃っていて、各種データベース、特許検索も利用できるので、作業がはかどる。自分のノート PC も持ち込んで作業ができる。プレゼンに関する書籍、ドキュメント作りに関する書籍、文書作成に関する書籍なども質の高いものが揃っていて、分かりやすい資料が作成できる。パワーポイントやワードの使い方は、図書館の相談コーナーで指導してもらえる。おかげで残業時間が格段に減った（設定：20代、宇部市内勤務）

- 要請や提案をするとなると、達意の文書を作成しなければならない。そこで宇部市に関する情報などファクトを調べたり、論点を検討したり、予測を示したりなど、知的作業に集中するために図書館を利用している。図書館の相談コーナーでは、文書の書き方、論理構成、表現方法などを指導してくれる。データベースにある過去の似たような事例も紹介してくれる。図書館は、市民活動を支援する体制になっている（設定：60代、宇部市在住）

学生の居場所づくり

現状の図書館は、学生にとって静かにしないといけない、自習をするための場所になっているが、友達と集まったり勉強を教えあったり、休日も行きたくなるような家・学校以外の居場所としての可能性を感じている。

- 学校が終わったら友達と図書館に行く。勉強をみんなで教えあったり、読んだ本の感想を言い合ったりして、家でゲームをするより楽しい。休日も図書館で過ごす、とても居心地がよく二つ目の自分の家みたいだ（設定：15歳高校新入生）
- 学校帰りに図書館に寄り、勉強をする習慣になっている。勉強に集中できる環境があるからだ。時には、グループ学習室で友人と情報交換しながら勉強している。英語が苦手なので、どのように勉強したら良いかを知るために、アドバイスをもらえる図書館の相談コーナーで、参考になる書籍を紹介してもらったり、辞書などのツールを紹介してもらったり、Web上のリソースを紹介してもらったりしている。また、諸先輩が図書館のHPに残してくれている経験談もとても参考になっている（設定：市内の高校に通う学生）
- 学習スペースが広くなり、また参考書や赤本などの蔵書が増え、中学生・高校生の学習しやすい環境が整い、学生の利用者が増加した（設定：中学生、高校生）

以上